

事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	スポーツ振興事業補助金	事務事業コード	113103
-------	-------------	---------	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	担当者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興
		事務事業	スポーツ振興事業補助金		
		予算科目	スポーツ振興事業	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令等	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	補助金	② 期間	平成 年度 ~ 平成 年度
補助金の種別	その他事業補助	③ 対象	公益法人
④ 制度の内容	岡谷市の体育・スポーツ振興を図るため、スポーツ活動事業を行う公益財団法人岡谷市体育協会に対して、予算の範囲内で事業費の1/3以内の額を補助する。		
⑤ 積算方法	補助額＝事業費1/3 以内		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催や地区体育協会・スポーツ少年団等の活動支援により、市民ひとり1スポーツの推進や競技者の競技力向上が図られる。		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
財源内訳				
一般財源	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	
予算執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比		100.0%	100.0%	

③ 29年度の交付先

--

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5 3	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。		0		
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5 8	
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1			
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、使途を検証している。	1			

7 有効性評価		*有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		高い	
評価項目		はい	いいえ				
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1					
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1					
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1					
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1					
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1		

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること) 公益財団法人岡谷市体育協会は、平成25年に公益財団法人へ移行し、5年が経過した中、岡谷市の市民スポーツの統括団体としてスポーツの果たす社会的役割の重要性を認識し、「市民ひとり1スポーツの実現」のため、子どもや家族、地域などライフステージに応じた多様な市民のスポーツ機会の充実を図り、その実現に向け取り組んでいる。 現在、少子高齢化の進行等により、社会情勢は大きく変化し、市民のニーズは多様化している。このような中、競技団体においては、選手や役員の人員の確保が大きな課題と考えている。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 岡谷市体育協会や関係団体等と連携を図り、市民のニーズの把握のため、様々な機会でのアンケート調査等を実施し、また、競技人口の拡大のため、きっかけとなる事業等について検討する。
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------